

2023年1月24日

会 社 名 株式会社ジェーソン

代 表 者 代表取締役社長兼会長 太田万三彦

(コード番号：3080 東証スタンダード市場)

問い合わせ先 常務取締役経営企画室長 山田 仁夫

電話番号：04-7193-0911 (代表)

2023年2月期 第3四半期 質疑応答集

この質疑応答集は、2023年1月12日（木）に発表いたしました2023年2月期 第3四半期決算発表後の株主・投資家などの方々からいただいた主なご質問をまとめたものです。ご理解いただきやすいよう、一部内容の加筆・修正を行っております。

Q1 | 第2Qにおいて、エネルギーコストなどの上昇を受け、通期業績予想について利益面で下方修正をされましたが、第3Qにおいて利益面でほぼ修正予想値まで到達するなど引き続き業績が好調のように見受けられます。第3Qの状況、今後の見通しについて教えてください。

A | 第2Q時点で、エネルギーコストの高騰を主な要因として、下期について利益面で厳しい見直しを行い、通期計画について利益面で下方修正をいたしました。しかしながら第3Qの業況はおおむね好調であり、第2Q時点での見通しよりも良好に推移しております。また、全店をあげて節電対応を行い、その効果も営業利益面で現れ始めております。この状況を継続し、現在の通期予想の達成はもちろん、業績の上振れを目指してまいります。

Q2 | 物価上昇の傾向が強まる中、低価格路線のディスカウントストアを展開する御社に注目が集まっているようですが、業績に与える影響はいかがでしょうか。

A | 事業環境は、追い風であると認識しております。独自ルートで仕入れた低価格のJV商品が引き続き販売好調であることに加え、昨春秋以降のナショナルブランド商品の仕入価格上昇に伴う販売価格の引き上げも相まって、客単価が上昇し好調な売上に繋がっております。

Q3 | 出店状況について教えてください。

A | 第3四半期までで、「みどり笠懸店」、「前橋駒形店」、「鹿沼上殿店」、「入間下藤沢店」の4店舗を新規出店し、直営店舗数は110店舗となりました。前期末と比べ純増2店舗であり、おおむね社内計画通り、順調に店舗のスクラップ&ビルドを進めております。引き続き、居抜き物件を中心としたローコスト出店に注力してまいります。

**Q 4 | 連結子会社の株式会社尚仁沢ビバレッジで製品の自主回収を実施した
とのことですが、業績への影響について教えてください。**

A | 自主回収につきましては、お客様、投資家、株主の皆様にご心配をおかけし、大変申し訳ございません。新規に導入した設備機器の一部不具合により、「尚仁沢の天然水」の生産および販売を一時停止し、現在、製品の自主回収を行っている状況です。業績への影響につきましては、代替商品の提供により売上面での影響はほぼ無く、また利益面についても影響は軽微な水準にとどまる見通しです。なお、販売再開の時期ですが、本年1月末頃を予定しており、それまでに機器の整備を終え万全の生産体制を整える計画でございます。

Q 5 | 生鮮食料品の取組みについて教えてください。

A | 現在一部店舗において、生鮮食料品のうち青果のみを試験的に販売をしております。今後の展開、本格的な取組みとするかについては、売上の状況やお客様の声を踏まえて、長期的な課題として検討して参ります。